

制服・標準服（以下 制服）デザイン等について

制服のデザイン

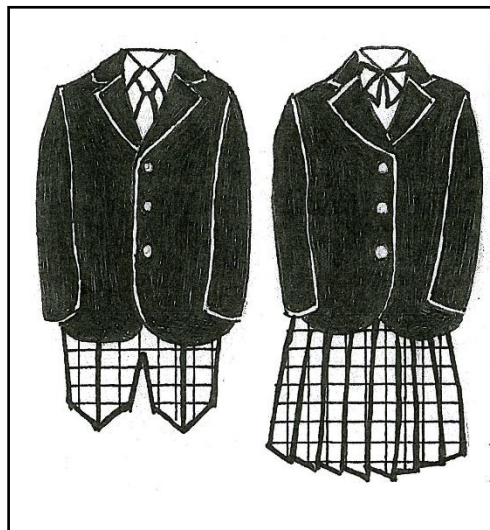
○イートン型（田原本町内小学校のタイプ）

イギリスのイートン校の制服がルーツとされ、昭和 30 年代に、新しいタイプの通学服として日本に広まった襟がないジャケットで、ダブルのボタンタイプも多い。主に小学生男女、中高生女子の制服として採用されている。特に、女子中高生の間で人気があるとも言われる。



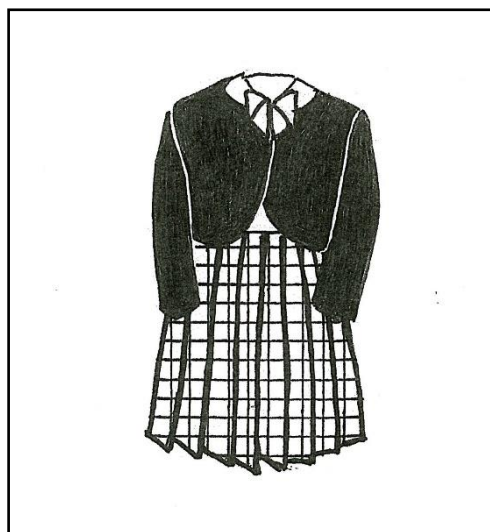
○ブレザー型

ネイビーやブラックの生地に金色などのボタンやエンブレムが施されているジャケットで、馴染みのあるデザインの 1 つ。男女ともに着用できるデザインが多く、ジェンダー平等や多様性に対応した制服として、これまで詰襟の学生服、セーラー服を制服として採用していた学校でも採用されてきている。



○ボレロ型

丈が短く、ウエストラインやその少し上までしかないショートジャケットの一種。華やかさを演出するために、襟元や袖にレースや刺繍が施されることもある。女子の制服として採用される例が多い。



※詰襟学生服・セーラー服を提案している小学校もある（学生服の下は半ズボン）

香川県では全小学校が制服で、詰襟・セーラー服の学校も多い。